

純国産・卵肉兼用種



Okazaki
Ohan

岡山おはん



卵も肉も美味しい純国産鶏



プルンとした大きな黄身



粒ぞろいの赤玉



うまみのある鶏肉

我が国の気候風土に適合するとともに、消費者ニーズに合うように育種改良された純国産の卵肉兼用種です。卵も肉も大変おいしい鶏で、国が育種開発を行った原種から作出した、祖先までさかのぼれる素性のしっかりした純国産鶏です。



お問い合わせ

独立行政法人 家畜改良センター岡山牧場

〒444-3161 愛知県岡崎市大柳町字栗沢1番地

TEL 0564-46-4581 FAX 0564-46-4587



成績

高い生産性と品質の良さ

- 卵用鶏を超える**高い産卵性能**
- MS～Lサイズ(52g以上70g未満)の割合はほぼ100%(LLはほとんど出ない)
- 卵質は**良好(大きな卵黄。卵黄卵重比28%)**
- **うまみのある肉質**は定評。体重は平均2.5kg(卵用鶏と比較し**大型**)

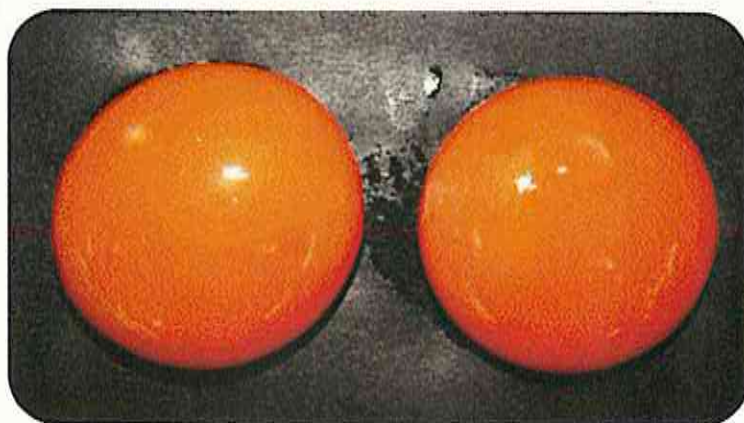


銘柄名	岡崎おうはん	外国トップ銘柄
産卵ピーク	98%	95%
90%産卵持続週齢	24～52週齢	24～46週齢
MS-L卵割合(52週齢)	100%	80%
卵黄卵重比(36週齢)	28.1%	23.7%
体重(64週齢)	2.5kg	2.0kg
生存率(20～64週齢)	95%	96%

大きな卵黄

- 岡崎おうはんは、外国トップ銘柄の卵と比べて卵黄の割合が高く、卵かけご飯にすると濃厚な味わいを楽しめます。

銘柄名	岡崎おうはん	外国トップ銘柄
卵重(g)	60.7	60.7
卵黄重(g)	17.0	14.4
卵黄卵重比(%)	28.1	23.7



岡崎おうはん

外国トップ銘柄





開発のコンセプト

時代のニーズ

- 1 食の安全保障への危機感
- 2 地域の地盤沈下への対応
- 3 安全・安心・品質・新鮮がキーワード
卵＝安全は絶対条件。健康志向
- 4 卵かけご飯の見直し(安価、良質、手軽、
美味しい、ご飯への回帰)
- 5 大量生産への警鐘。手作りの見直し。もったいない思想。アニマルウェルフェアへの動き
- 6 限りある国内資源の有効活用への理解
- 7 トレーサビリティと絶対安心のお墨付きが必要な時代

岡崎おうはん

- 1 我が国の風土や食習慣に適した歴史ある純国産鶏(国産に理解を示す消費者をターゲット)。国内で持続的に再生産可能
- 2 地域社会の活性化(零細農家や差別化を意識する農家向け。地産地消)
- 3 高い品質の卵と肉の生産を目指す(価格で競争しない品質型)
- 4 大きな卵黄 卵かけご飯に最適な卵。
- 5 飼料米、エコフィード、平飼い等への対応を目指した付加価値型
- 6 親鶏と雄ひなの活用(資源の有効利用)
- 7 育種部門まで生産履歴が明確。国が育種改良してきたという信頼感

特長

- 強健で環境適応力のある純国産鶏、美しい横斑が特徴
- 産卵は高い水準を長く維持
- MS～Mサイズが中心で生食用に適した綺麗な赤玉
- 卵黄が大きく、卵かけご飯に最適
- うま味と歯ごたえのあるジューシーな鶏肉
- 国が育種改良した鶏でルーツが明らか



横斑プリマスロック♂



ロードアイランドレッド♀

交配



岡崎おうはん

種から国産

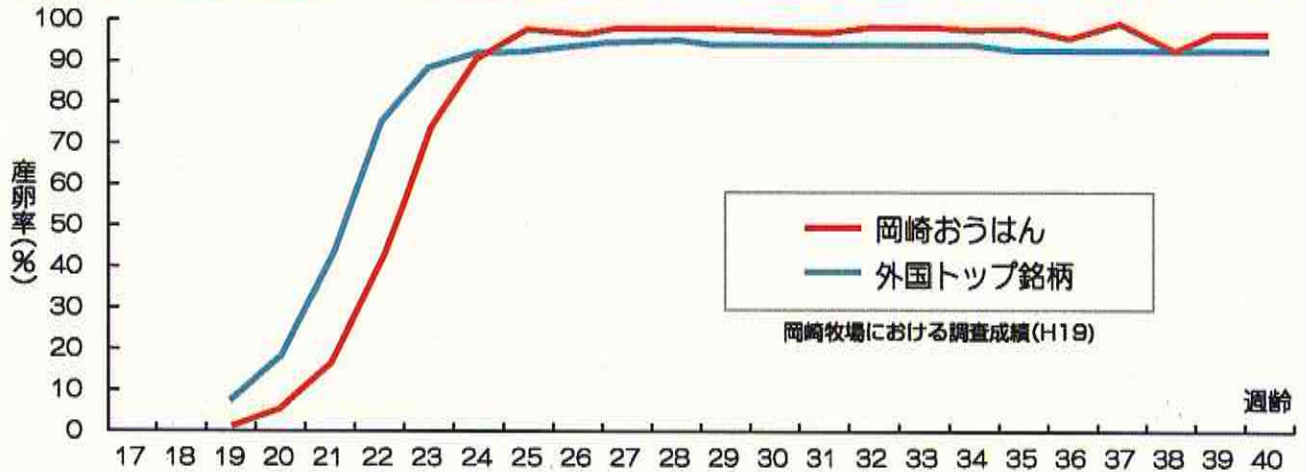


産卵成績

- 岡崎おうはんのピーク産卵率は98%で、外国トップ銘柄と同等の成績です。
後半では、外国トップ銘柄よりも高い産卵を維持しています。
さらに、2羽飼いで産卵は落ちることなく、タフな鶏であることがわかっています。
また、農家試験でもよい成績をおさめています。

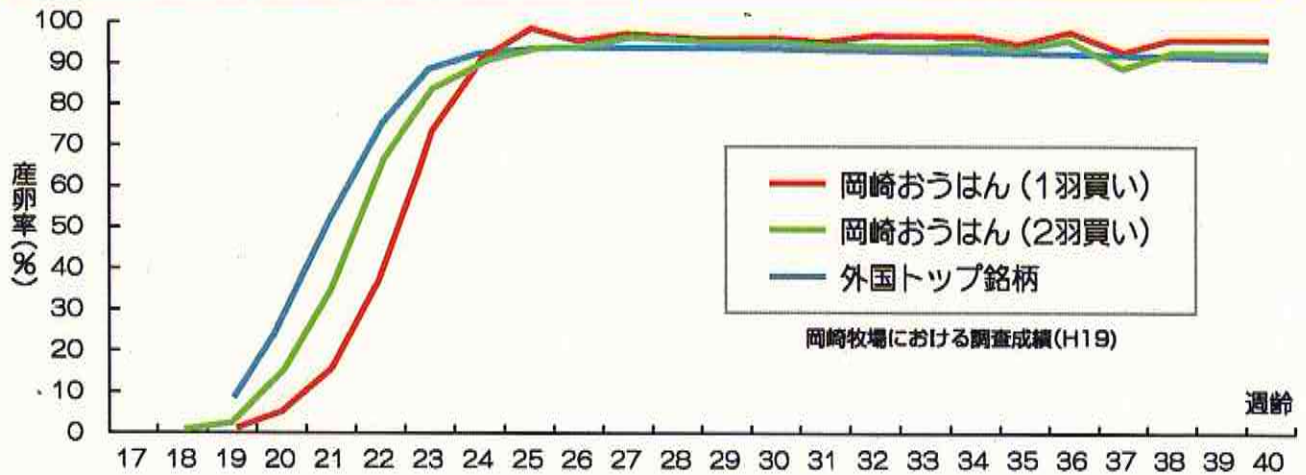
19年度産卵成績

※後半では外国トップ銘柄よりも高い産卵を維持



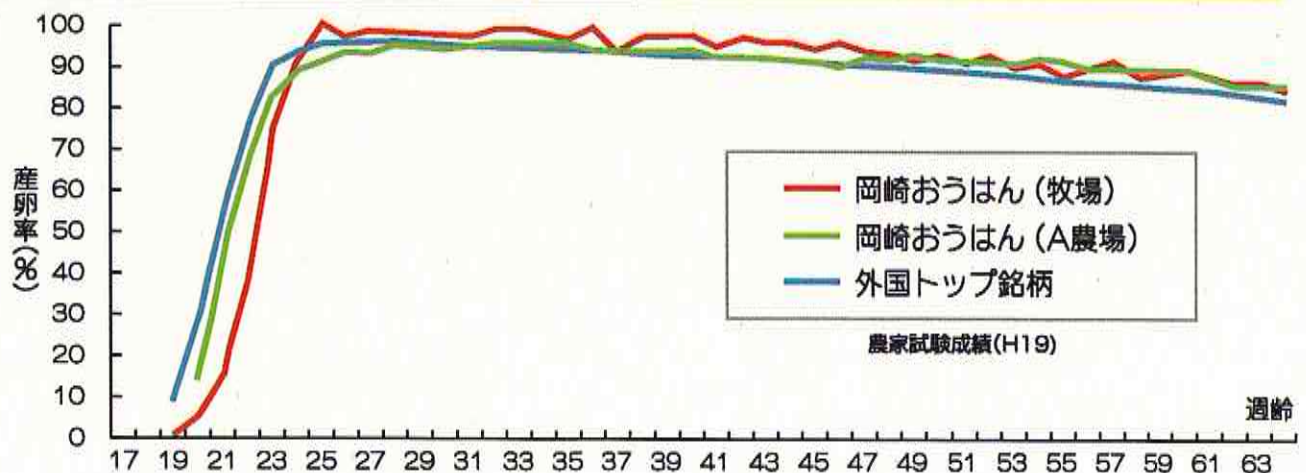
19年度産卵成績 (1羽飼い、2羽飼い)

※2羽飼いでタフな産卵



農家試験での産卵成績

※後半では外国トップ銘柄を上回る

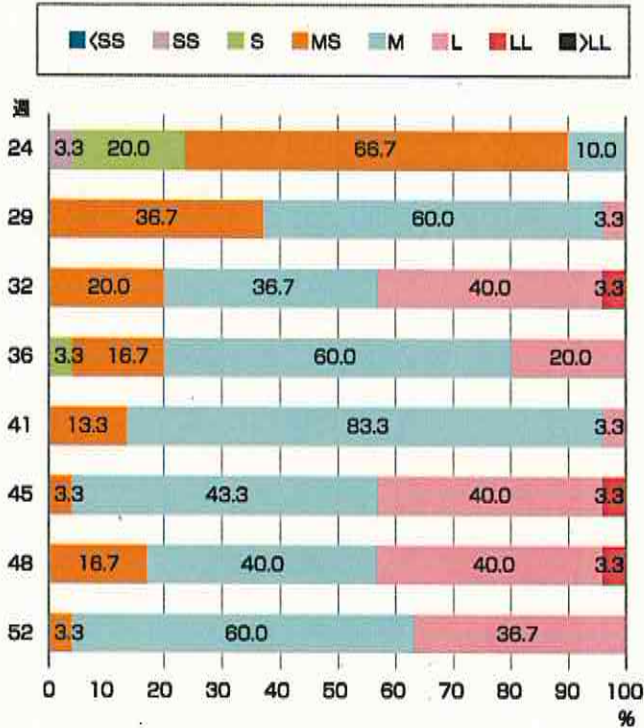




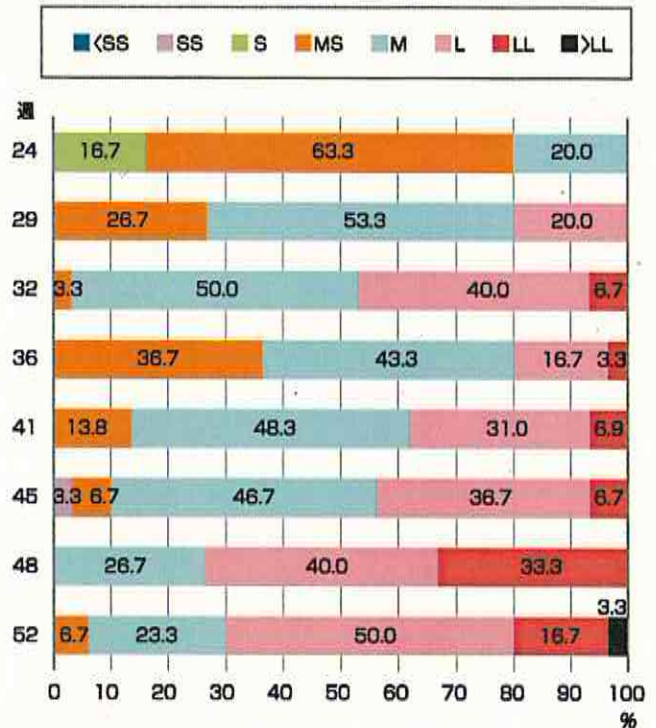
卵重規格別割合の推移

- 岡崎おうはんは、加齢しても卵が大きくなりすぎず、MS~Lサイズがほぼ100%を占めます。また、産卵後半になっても、取引不利なLLサイズ卵をほとんど生産することがなく、鶏卵販売上の大きなメリットとなります。

岡崎おうはん



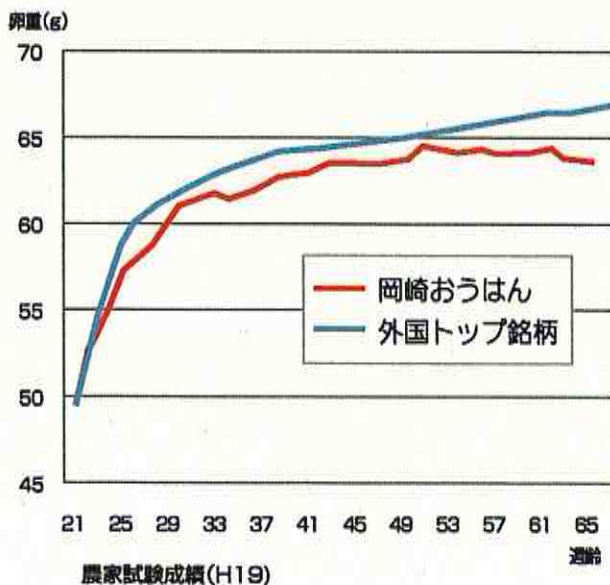
外国トップ銘柄



卵重の比較

程よく一定の卵重

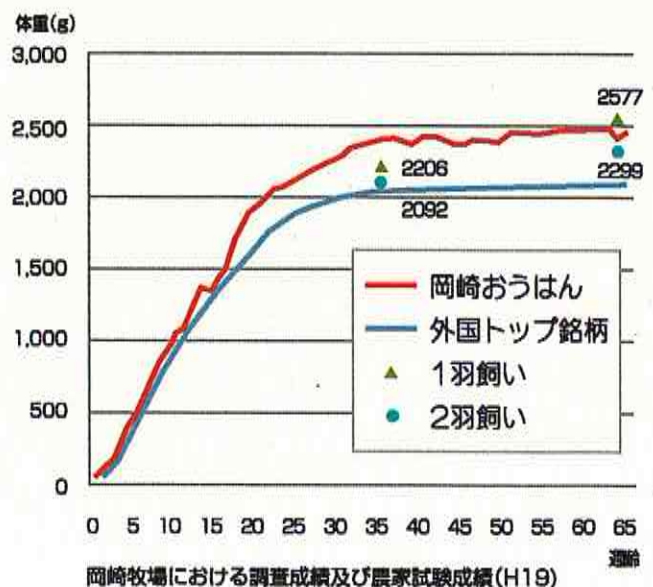
※後半大きくなりすぎない



体重の比較

体重は2500gで一定

※2羽飼いでは2300g。産卵性能は落ちない



飼育管理における留意事項

岡崎おうはんを飼養する際には、以下にご留意ください。

区分	項目	留意事項
育成期間 (18週齢まで)	光線管理	1日の明るい時間(点灯時間+自然日長)は、漸減させることを基本とし、下限は、10時間程度まで。
	給餌	不断給餌
	平飼い	悪癖が見られる場合は、点灯の照度を落とすか、デビークを実施すべき。
成鶏(産卵)期間 (19週齢以降)	光線管理	19~20週齢以降毎週15~30分ずつ漸増。14~16時間で一定にする。
	給餌	不断給餌
	飼養期間	肉質の関係から500日齢前後までの飼養が望ましい。



岡崎おうはん振興協議会

平成20年10月17日に「岡崎おうはん」振興協議会が発足しました。今後この協議会を核として、岡崎おうはんの振興をさらに積極的に推進していきます。

目的

国内における種の育成に関する理解を深め、純国産鶏「岡崎おうはん」の生産と消費の拡大、ブランドの維持を図ること。

構成

消費者団体、生産者団体、成鶏処理業者、種鶏孵卵業者、家畜改良センターと、幅広い分野に及ぶ。

コマーシャルヒナについての問い合わせ先

株式会社 小松種鶏場 (国産鶏増殖センター)

〒390-0841 長野県松本市渚3丁目6番19号
TEL 0263-24-0151 FAX 0263-24-0152

株式会社 後藤孵卵場

〒500-8886 岐阜県岐阜市西野町7丁目北町13
TEL 058-251-2231 FAX 058-253-0812

独立行政法人 家畜改良センター岡崎牧場

〒444-3161 愛知県岡崎市大柳町字栗沢1番地
TEL 0564-46-4581 FAX 0564-46-4587

成鶏処理についての問い合わせ先

六ツ美養鶏加工協同組合

〒444-0243 愛知県岡崎市上青野町字城屋敷7
TEL 0564-43-2475 FAX 0564-43-5526